



平成最後の新年を迎えてからはや3カ月が経ち、うぐいすの声も聞かれ桜も咲き始める頃となりました。生活スタイルが新しく変化することも多い春を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか？春の自然のエネルギーを感じつつ私達スタッフ一同気持ちをリフレッシュさせて訪問看護に向き合っていきたいと思っています



2019年度 私たちの目指すもの



訪問看護師は、住み慣れた我が家で過ごす利用者様とご家族に、在宅での医療とケアを提供し医療機関とご自宅を切れ目なくつなぐことを役割としています

病院から在宅への移行をスムーズに行えるよう働きかけます



利用者様や家族が安心して在宅で過ごせるよう支援します

♡病院から自宅へ安心の医療を継続します

退院時・退院後の医療機関との連携を大切にします

○退院日支援訪問を行います

○退院後、初回訪問時や訪問開始数週間が経過した頃に状況の報告をします

♡他事業所との連携により地域で支えます

在宅支援事業所との連携を大切にします

○事業所への訪問や会議への参加を通して、顔と顔の繋がりを拓いていきます

♡事業所の特性を生かした、看護・ケアの提供をします

臨機応変に対応できる体制づくりをします

○本部とサテライトで看護師 14 名、PT1 名、OT1 名の計 16 名います

スタッフ間で情報共有し、円滑な調整・ケアの提供ができるよう努めています

○緊急訪問にも対応できるような体制づくりをしています

♡訪問看護認定看護師を中心に、看護の質の向上を目指します

昨年4月から訪問看護認定看護師が1名在籍しています

○認定看護師を中心に、研修や会議に参加した際の情報の共有や知識の向上のための勉強会、地域へ向けての訪問看護の普及活動をしています

訪問看護の利用を検討される際やお困りの事例がある際に

“訪問看護ステーション・ちあき”

が思い浮かぶような

事業所づくりに努めていきます！



～東日本大震災から8年…起こりうる災害に備えて～

3月、テレビでは震災を振り返り、当時の映像がよく流れていました。その映像を見て災害は他人ごとではないと感じ、実際に今災害がおきたら自分には何が出来るのか、またどう行動するべきかを考えさせられました。今回は災害に備えての取り組みを簡単に紹介します。



・・・●訪問看護ステーション・ちあきでの取り組み●・・・

★大規模災害時の対応マニュアルの作成・BCPの確認

★法人全体での大規模災害訓練への参加

(2018年度は8月地震、翌年1月には洪水を想定した訓練を実施しました。)

★安否確認表の作成・定期的な更新

安否確認表には…

氏名・生年月日・生活状況・介護度・
病名・医療機器の使用状況を記載しています。

訓練後は全スタッフで振り返り
をおこない、災害発生時の具
体的行動の習熟・改善に取り組
んでいます

★「災害用伝言ダイヤル171」

「災害用伝言板 web171」の利用の説明

★在宅医療機器を使用されている利用者様へ中部電力の連絡による使用状況登録

非常事態時に十数時間、あるいは数日間にもわたり電気が供給できない可能性があるため
中部電力では事前に登録のある家へ、個別で停電状況や復旧見込み等の連絡を行っていま
す。

！災害が発生した場合！

◎職員の安否確認：ラインを用いての連絡

電話ができる状況であれば電話を使用しての連絡を想定

◎訪問中の場合、利用者様の安全確保。状況に応じて行動し本部である事業所へ状況と安否の報告

◎利用者様への連絡、安否確認（安否確認表を活用し優先度考慮し順番に連絡していく）

◎医療機器の使用状況の確認や対応の検討・指示

◎本部は情報の集約を的的な指示、連絡をする

◎身動きのとれるスタッフは本部と連絡を取り合いながら行動する

災害時には混乱が生じ計画通りには事が運ばないと想像できます。

災害が起きた時みなさんの事業所ではどのような対応をされるのでしょうか…？

いざという時に備えて色々情報交換をしたいと思います。

機会があったらお話しかせてくださいね



訪問看護ステーション・ちあき/岩倉出張所